

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	サンノゼ州立大学 (国名: アメリカ)	
留学先学部名(またはプログラム名)	コンピューターサイエンス学科	
留学期間	2012 年 8 月 ~ 2013 年 5 月	
学部/学府・年次	21 世紀プログラム 学部/学府	2 年次~ 3 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	留学前に可能な限り単位を取得しておくや、就職活動と重なる可能性がある3年次に留学しないように配慮しました。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) ③. その他(具体的に: 未定)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	不明	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	秋学期と春学期があり、それぞれの学期ごとに12単位から15単位分の授業が履修できるようになっています。科目や教員によっては、履修要件(Prerequisite)を満たさないと授業の履修を認められない場合や、名前は違うにも関わらず、ほとんど同じ内容の授業があるので、注意が必要です。ただ、履修要件さえ満たしていれば、自分の専攻とは全く異なる学科の授業を履修することも可能なようです。また、交換留学生であり、短期間(半年もしくは1年間)しかサンノゼ州立大学で学ぶことができない旨を説明すれば、履修要件を満たしていない科目の履修許可が下りることもあるので、柔軟に対応する必要があります。授業によって、コマ数や1コマの時間、単位数が異なります。また、オンラインクラスや、講義と実習を同時に履修する必要がある科目など、様々な授業が存在します。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面に関するサポートは、あまり無いようです。しかし、自分が履修している授業の担当教員に直接相談をすることで、その教員から語学面に関するサポートを受けることができることもあるそうです。また、サンノゼ州立大学は語学学校も併設していますので、相談することでそちらの授業を履修することができるかもしれません。</p> <p>勉学面では、チューターという名前の、無料で勉強を教えてもらえる家庭教師のような制度があります。学部や授業の内容によっては対応していないものも多いようですが、その場合は、担当教員が設けるオフィスアワーを利用する生徒が多いようです。</p> <p>学校側からの精神面でのサポートは特にありません。しかし、JSA(Japanese Student Association)という、日本人留学生や現地の日本人学生を主とした団体があるそうなので、そこからいろいろなサポートを受けることができるかもしれません。</p> <p>住居・生活面に関しては、様々なサポートがあります。簡単な病気や怪我をした際には、Student Health Center という施設に行くことで、無料で診療を受けることができます。また、プールやジムを無料で利用することができるため、運動不足になることもありません。キャンパス内に学生寮、キャンパスから 2 ブロック離れたところにインターナショナルハウス(留学生寮のようなもの)もあり、学校の近くに住むことができます。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>留学生がとて多いこともあり、学校での授業やサンノゼでの生活になじめないということは全くありませんでした。しかし、インド人、中国人、韓国人、ベトナム人を始めとしたアジア系の生徒がとてたくさんサンノゼ州立大学に在籍しており、それぞれの国の言葉を話しているために、アメリカの大学に留学しているという実感もあまり沸きませんでした。大学の規模が比較的小さいため、キャンパス間の移動や教室間の大きな移動が少なく、移動時間などをあまり考えず時間割を組むことができたので、様々な可能性の中から自分に適した時間割を選ぶことができました。エッセイに関するチューター制度を利用した留学生の中に、英語の文法的なミスが多いと、それを指摘、修正してくれる役目のチューターから嫌な顔をされると話している学生がいました。また、私が履修した授業の内容を質問に行っても、担当者がいないから指導できないと断られることもありました。そういった面では留学生や学生へのサポート体制が万全ではないのかもしれませんが、サポート体制の欄でも記述したオフィスアワーを利用することや、担当教員への個人的な相談を行うことで、問題の解決や、担当教員からの配慮を期待することができたので、大きく困ることはあまりありませんでした。</p> <p>履修登録のシステムが突然変わったり、履修要項に記入されていない内容で授業の履修を断られたりして、留学当初はとて困りましたが、春学期の履修登録までにはおおよそのシステムを理解して、自分の希望する授業を履修することができました。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>秋学期の履修登録締切の時点で、12単位以上15単位以下の授業を履修できていなければ、アメリカ政府から交換留学の許可が下りずに強制送還されることとなります。実際に、毎年何人かの生徒が強制送還されることがあるそうですし、私の友人にも強制送還された人が1人います。また、私もトラブルに巻き込まれて、強制送還になりそうになりました。履修要件を満たしていると思って、履修登録を行っても、現地に行つて初回の授業で履修を断られる場合もあります。そのため、履修登録締切の時点で12単位以上登録できているから安心するのではなく、もし履修を断られた場合にどう対処するかなど、予備の計画を立てておくと、何かトラブルに巻き込まれた場合でも、落ち着いて対処できると思います。</p> <p>全て英語で授業が進んで行くので、授業の内容や課題の内容で理解できない点があるかもしれません。そういった場合には、その授業の担当教員に直接質問に行くか、その授業が得意な人を友達にして、その友達に聞くと解決するケースが多いです。日本語で内容を予習しておく、授業の理解度が増すかもしれません。また、初回の授業が始まる前や終わった後に、担当教員に交換留学生でまだあまり英語が得意ではないので、いろいろ質問に行くかもしれないなどの旨を伝えておくと、困った時に助けてくれるケースが多いです。</p> <p>サンノゼ州立大学には、サルサ・社交ダンス・バレエ・ジャズダンス・楽器(ピアノ、トランペットなど)入門、アイスホッケー、スキューバダイビング、写真撮影入門、デッサン入門など、九州大学ではあまり見ないような特殊な授業もあります。もし履修に困っている</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>J-1</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>在大阪アメリカ大使館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>留学終了時点から10ヶ月以上の猶予があるパスポート 預金証明 証明写真</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>30分程度</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>ビザ用の写真の撮影や、予約など</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>留学開始時には、衣類や教科書代、寝具など購入する必要があるものが多く、金銭的に困ることや戸惑うことが多かったのですが、生活に慣れるにつれて節約の仕方や、何にいくらぐらいお金がかかるか分かってくるので、だんだんと効率良くお金が使えるようになり、簡単な旅行をする余裕を持つことができました。</p> <p>バスや路面電車など公共の交通機関はあったのですが、車だと30分の移動ですむものが、公共の交通機関を用いることで2時間かかることなどもあり、移動にとっても苦労しました。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 約14万円/月</p> <p>(生活費内訳)</p> <p>住居費: 約10万円(光熱水料、固定電話代、インターネット代、平日の食費込)、 光熱水料: 0円、通学費: 0円、食費: 1万円、携帯電話代: 2500円、 インターネット代: 0円、書籍代: 1万円</p> <p>その他:(具体的に)</p> <p>交際費: 1万円、雑費: 5000円</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>レポートやエッセイなどの作成や提出はパソコンで行う場合がほとんどなので、パソコンを持参することをお勧めします。ただ、パソコンを用いて何かをしないと行けない場合など、日本語のパソコンだとやり方を教えてもらえない場合もあるので、心配なのであれば、現地で安いパソコンを購入するのも良いかもしれません。</p> <p>コンセントの形は同じなので、電源ケーブルに変圧器がついていれば、変圧器単体は不要です。</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>サンノゼはアメリカの中で比較的治安が良い土地と言われていますが、ここ数年で状況が変わってきているそうです。深夜の大学構内での強盗事件が2ヶ月に1度程度の頻度で起こったり、大学から数ブロック離れたダウンタウンでは発砲事件が起こったりと、事件に巻き込まれる可能性は多分にあります。昼間は安全な場所でも、日が暮れると危険な場所になったりするので、日が暮れてから1人では極力歩かないように心がけると必要があります。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>私の場合は、留学先で必要だと思われる額の現金を、トラベラーズチェックで全て日本から持って行って、現地の銀行口座に預金するという方法をとりました。アメリカでは安全上の問題で、多額(100ドル以上)の現金を持ち歩く人はほとんどいません。支払いの場合も現金よりも、クレジットカードやデビットカードでの支払いが好まれる場合が多いので、現地に口座を開設してクレジットカードかデビットカードを作るのが良いかもしれません。また、店舗や機械によっては、日本のクレジットカードが使えない場合もあるそうなので、現地の銀行で口座を開設することをお勧めします。</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	360 south 11 th street San Jose, CA 95112 ???	
費用(月額)	約 10 万円	
どのようにして見つけたか	サンノゼ州立大学の留学生サポートからの紹介と、以前に留学した先輩からの紹介	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	次期留学生の希望次第。 インターナショナルハウスには、アメリカ人の生徒(20人程度)と留学生(50人程度)と一緒に生活しています。そのため、他の国からの留学生と仲良くなるのは容易ですが、寮に住む人以外のアメリカ人の学生と知り合うのが難しいということがあります。アメリカ人の学生と知り合いたいのであれば、インターナショナルハウス以外の場所に住むのも方法の1つかもしれません。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<p>サンノゼ州立大学から北に 20 分ほど歩いた距離に、ジャパントウンという通りがあり、そのスーパーマーケットで日本食やその材料、日本の企業が作っている薬などほとんどのものをそろえることができます。また、車で西に 15 分程度の距離に大きめのスーパーやカラオケなどもあるので、日本が恋しくなりにくいように思います。</p> <p>アメリカにはカラーギャングというものがあり、サンノゼ州立大学メインキャンパスの周辺では青、サンノゼ州立大学のサウスキャンパスの周辺は赤の色を身につけるギャングが縄張りになっているそうです。噂程度の話ではありますが、抗争などの危険を避けるためには、帽子と上着、ズボンなどの色を、赤や青、黄色など単色で統一しないことをお勧めします。</p>	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項

特になし